

令和5年度第1回広島県FM連絡会議 開催報告

広島県 FM 連絡会議代表幹事：広島県

令和5年度第1回目の広島県FM連絡会議（自治体等FM連絡会議広島県地域会）を、令和5年7月21日（金）に広島県立総合体育館大会議室において開催しました。当日は、中国財務局と広島県内の自治体から合計51名が参加しました。

県職員を対象とした「広島県ファシリティマネジメント研修会」も兼ねて開催した第1部は、今年度は大阪府高槻市役所総合戦略部アセットマネジメント推進室小川様が Zoom による生配信での講演を実施し、参加した職員は会場で資料を投影したスクリーンを見ながら、聴講する方式としました。

小川様より、「高槻市の公共施設マネジメントについて」と題して、高槻市のFMの概要、高槻市の土地利用の事例について御講演いただきました。また、具体的な土地利用事例についても、民間を誘致した事例として、市有地を活用したホテル誘致と関西将棋会館の移転の2つの事例を御説明していただき、また利用転換の事例では高槻市の応急診療所の移転建て替え事例など、複数御説明いただきました。

また、中国財務局管財部管財総括第二課の原田様には、「国公有財産の最適利用について」御説明をいただきました。国と地方公共団体が連携した国公有財産の最適利用について御説明され、国・市施設の合築の具体的な事例として、山口県宇部市の宇部市新庁舎への税務署入居の事例を御説明いただきました。

その後、「施設総量削減についての取り組み、特に解体工事についての考え方について」、「他部署との調整について」、というテーマで、4グループに分かれ、事前に取りまとめを実施した各市町の取り組みと課題を参考資料として、各市町の取組状況や課題について、意見交換を行いました。

最後に、今年度第2回の広島県FM連絡会議については、10月に三次市において開催予定である旨を案内し、会議を閉会いたしました。

今回の連絡会議は、平成26年度に設置以来、14回目となります。次回以降も、県内外を問わず、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントのレベルアップが図られるよう、工夫していきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。